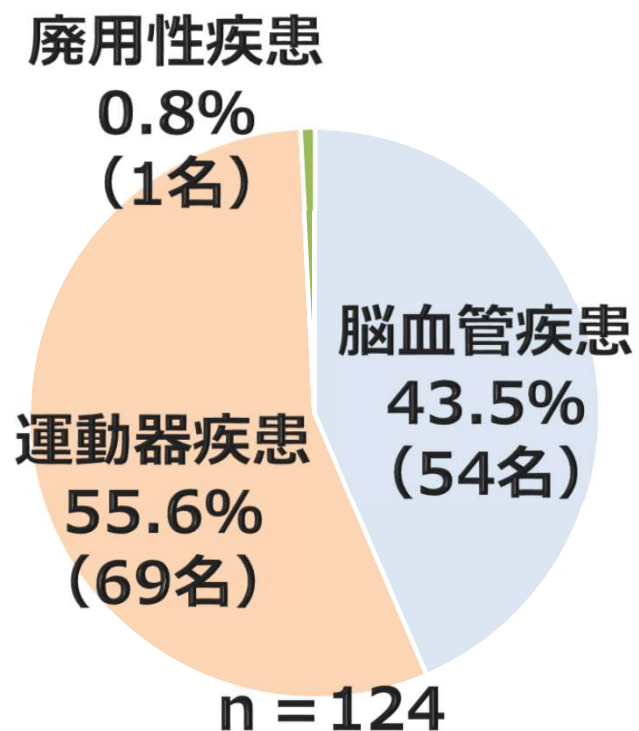


2021年度実績

回復期リハビリテーション病棟

2021年10月～2022年3月

疾患割合



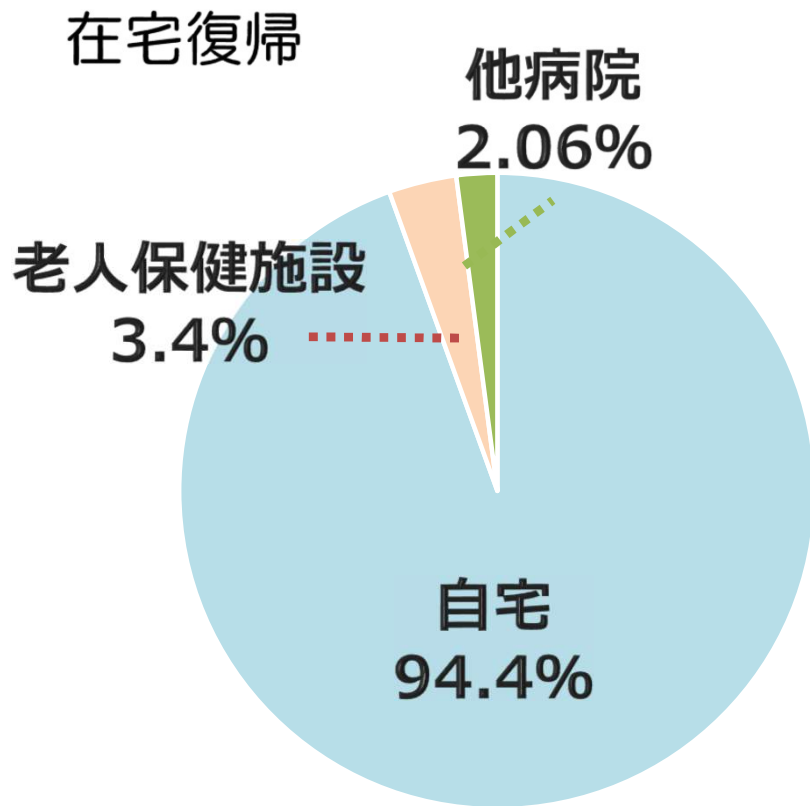
入院期間

平均入院期間
77.37日



脳血管疾患	93.85日
運動器疾患	63.10日
廃用性疾患	37.00日

- ◆ 2022年度下半期は脳血管疾患患者43.5% 運動器疾患55.6% 廃用性0.8%
- ◆ 平均入院期間は全体で77.37日、脳血管は93.85日 運動器は63.10日 廃用は37日
- ◆ Covid-19の影響で平均入院期間が大幅に伸びた半期であった



リハビリ



◆ 在宅復帰率は94.4%で、次いで老健施設、他の病院とつづく

◆ リハビリは365日実施、1日平均6.49単位（約2時間15分）実施

FIM利得

アウトカム



基準値：40.0

アウトカム指数：**38.77**

◆ FIM利得（退院までに改善したFIMの得点）

脳血管疾患は19.7、運動器疾患は27.5、廃用性疾患31.0でした。

（FIM利得をベースに計算され、「40以上」が回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰの要件となる）

脳血管疾患は37.5、運動器疾患39.5であり、全体で**38.77**と基準値を下回りました。Covid-19の影響でアウトカム指数は大幅にダウンした。